

# 宇治市地域水道ビジョン 第2次事業実施計画

## 総括

平成29年3月

宇治市上下水道部

## 1. 策定の目的

平成22年3月に「宇治市地域水道ビジョン」（以下、「水道ビジョン」という。）を策定し、今後10年間の水道事業の総合的な指針を定めました。この事業実施計画は水道ビジョンの基本施策を実現するための具体的な取り組みを定めたもので、事業の目標、内容、取組予定を具体化し、事業執行の財政見通しを立てた上で、実施計画に基づき事業を実施することにより、水道ビジョンの着実な実現を目指すものです。

実施に当たっては3ヵ年毎の計画とし、平成23年度～25年度までを第1次、平成26年度～28年度までを第2次、平成29年度～31年度までを第3次事業計画とし策定するものです。

## 2. 第2次事業実施計画の評価

平成26年3月に策定した第2次事業実施計画及び平成26年度～27年度に行った水道ビジョン中間見直しでの宇治市水道事業経営審議会の答申を踏まえた事業実施計画の進捗、成果等を検証し、事業ごとの評価を行いました。







### 3. 事業実施計画





<b>基本目標</b>	<b>2-1 水運用の安定</b>
-------------	-------------------

#### 基本施策 2-1-3 水道施設の再編成





事業・取組	2-1-3-1 浄水場統廃合事業			
内 容	老朽化した神明、奥広野浄水場を統廃合し、新たな浄水施設整備のための水源調査や設計業務等を行います。			
スケジュール(計画)	H26	H27	H28	H29～H31
基本設計				
事業認可変更				
実施設計				
スケジュール(実施)	H26	H27	H28	H29～H31
基本設計				
事業認可変更				
実施設計				
事業費	57,000千円		48,000千円(見込)	
評 価	老朽化した神明、奥広野浄水場を統廃合し、新たな浄水施設整備のための水源調査や設計業務を行いました。			

事業・取組	2-1-3-5 配水区域再編事業			
内 容	<p>平常時における水量・水圧の安定と災害時における給水の相互運用を図るために、設定した配水区域に伴う管網整備の検討を行います。</p> <p>管網の整備については、管路の更新・耐震化とあわせて行う必要があり、優先順位の高い管路から行います。</p>			
スケジュール(計画)	H26	H27	H28	H29～H31
管網整備検討業務				
スケジュール(実施)	H26	H27	H28	H29～H31
管網整備検討業務				
事業費	10,000千円		12,000千円(見込)	
評 価	<p>平常時における水量・水圧の安定と災害時における給水の相互運用を図るため、第1次事業実施計画で行った配水区域の再編に基づき、広岡谷ポンプ加圧水系を須留配水区域に変更しました。</p>			





## 基本施策 2-1-5 基幹施設の更新

事業・取組	2-1-5-1 宇治浄水場施設整備事業			
内容	耐震二次診断で補強が必要とされた施設や電気、機械設備、場内配管等について整備を進め、平成31年度までに浄水施設の耐震化完了を目指します。			
スケジュール(計画)	H26	H27	H28	H29～H31
更新・耐震基本計画				
更新・耐震設計・工事				
スケジュール(実施)	H26	H27	H28	H29～H31
更新・耐震基本計画				
更新・耐震設計・工事				
事業費	60,000千円 → 379,000千円(見込)			
評価	耐震診断で補強が必要とされた施設や電気、機械設備、場内配管について整備を進めるため、平成26年度は基本計画、平成27年度は設計を行い、平成28年度から工事に着手しました。			

## 基本施策 2-1-6 老朽管路の更新





事業・取組	2-1-6-1 老朽管更新・耐震化事業			
内容	<p>下水道工事に伴う移設や改良工事で、石綿セメント管や鋳鉄管等老朽管の更新・耐震化を積極的に進め、管路の耐震適合率を25%まで向上させることを目標とします。また、第2次事業実施計画では、石綿セメント管の更新延長を3kmとし、平成31年度までに石綿セメント管の解消を目指します。</p>			
スケジュール(計画)	H26	H27	H28	H29～H31
老朽管路布設替工事				
スケジュール(実施)	H26	H27	H28	H29～H31
老朽管路布設替工事				
事業費	750,000千円 → 694,000千円(見込)			
評価	<p>下水道工事等に伴う移設工事や改良工事により積極的に耐震管に布設替えを行い、管路の耐震適合率は約25%となる見込みです。</p> <p>また、石綿セメント管は、この3年間で約2km更新できる見込みで、残り約2kmとなりました。</p>			

## 基本施策 2-1-7 鉛製給水管の解消





事業・取組	2-1-7-1 鉛製給水管解消事業			
内容	移設、改良、修繕工事や他工事に合わせて、鉛製給水管の布設替えを進め、年間1,000件の布設替えを目標とします。			
スケジュール(計画)	H26	H27	H28	H29～H31
鉛製給水管布設替				
スケジュール(実施)	H26	H27	H28	H29～H31
鉛製給水管布設替				
事業費	300,000千円 → 197,000千円(見込)			
評価	移設、改良、修繕工事や他工事に合わせて、鉛製給水管の布設替えを進め、布設替えを行いました。 この3年間の布設替え件数は約2,300件となる見込みです。			

**基本目標 2-2 災害対策の充実**

**基本施策 2-2-2 水道施設の耐震化**

事業・取組	2-2-2-1 主要配水池耐震化等整備事業			
内容	配水池の再編検討を踏まえて、主要配水池（五ヶ庄、高峰山、折居台、下居・琵琶、東山、広野町）の計画的な耐震化を進め、耐震化率を20%まで向上させることを目標とします。			
スケジュール(計画)	H26	H27	H28	H29～H31
耐震詳細診断 更新・耐震整備設計・工事				
スケジュール(実施)	H26	H27	H28	H29～H31
耐震詳細診断 更新・耐震整備設計・工事				
事業費	508,000千円 → 319,000千円(見込)			
評価	主要配水池の耐震診断を行った結果、多くの配水池で耐震補強が必要となりました。平成26年度から琵琶配水池の耐震補強工事を行い、配水池の耐震化率は、約22%となる見込みです。			



事業・取組	<b>2-2-2-2 水道施設更新・耐震化事業</b>			
内容	水道施設の耐震化は、配水区域再編事業と合わせて行う計画としており、優先順位の高い施設から整備を進めます。 なお、第2次事業実施計画期間については、9頁の2-2-2-1 主要配水池耐震化等整備事業を優先的に進めます。			
スケジュール(計画)	H26	H27	H28	H29～H31
耐震詳細診断				
更新・耐震整備設計・工事				
スケジュール(実施)	H26	H27	H28	H29～H31
耐震詳細診断				
更新・耐震整備設計・工事				
事業費	508,000千円(再掲) → 319,000千円(見込)(再掲)			
評価	主要配水池の耐震診断を行った結果、多くの配水池で耐震補強が必要となりました。平成26年度から琵琶配水池の耐震補強工事を行い、配水池の耐震化率は、約22%となる見込みです。(再掲)			

## 基本施策 2-2-3 水道管路の耐震化

事業・取組	2-2-3-1 基幹管路耐震化事業			
内 容	<p>地震等災害時にも被害を最小限に食い止め、一定量の給水を可能にする配水ルートを選定し、連絡管の整備を進めます。</p> <p>管路の耐震化は、配水区域再編事業の管網整備と合わせて行う計画としており、優先順位の高い基幹管路から整備を進め、基幹管路の耐震適合率を23%まで向上させることを目標とします。</p>			
スケジュール(計画)	H26	H27	H28	H29～H31
基幹管路整備案検討				
基幹管路整備設計・工事				
スケジュール(実施)	H26	H27	H28	H29～H31
基幹管路整備案検討				
基幹管路整備設計・工事				
事業費	120,000千円 → 77,000千円(見込)			
評 価	<p>新宇治淀線に配水本管を布設する工事や下水道工事に伴う移設工事および笠取簡易水道を上水道に統合したことに伴い、基幹管路の耐震適合率は、約23%となる見込みです。</p>			